

第2次白井市行政経営改革実施計画進捗状況 【令和5年度】

【評価】 ア：目標達成（完了） イ：目標達成（引き続き取り組んでいく） ウ：未達成（引き続き取り組んでいく） エ：目標未達成（事業終了とする）

取組番号	取組項目名	取組目標	所管課	取組実績	効果額実績	自己評価	所管課意見（今後の方針・課題など）
1	オープンデータの推進	・オープンデータの公開 ・市民向け公開型G I S導入の検討	総務課	【オープンデータの公開】 令和５年度からデジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）の推進が積極的に進められ、優先する事業が複数立ち上がったことから、白井市独自ページでのオープンデータの公開に至っていない。 ※県が公開しているオープンデータサイトから白井市の情報の一部は取得可能 【市民向け公開型G I S導入の検討】 公開型G I S導入について、いくつかの課から要望が出されている反面、令和５年度からＤＸの推進が積極的に進められ、優先する事業が複数立ち上がったことから、マンパワーの余裕がなく、具体的な検討作業までは至っていない。	—	ウ	【オープンデータの公開】 ＤＸの推進により、優先的に取り組むべき事項が多数あること、市民からの要望が少ない反面、事業展開に当たり作業量が多いことから、マンパワーを確保した上で取り組む必要がある。 【市民向け公開型G I S導入の検討】 導入・運用に当たっては、比較的高い事業費が必要となり、予算の確保が厳しい状況であること、業者や各課との調整など事務負担が多い一方、マンパワーの余裕がないこと、当課においてG I Sを使った業務を行っていないことからシステムに精通していないことなど、実現までに多くの懸案が残っている。
2	使用料・手数料の見直し	・使用料・手数料の見直し ・無料の公の施設の利用料金の有料化検討	総務課	【使用料・手数料の見直し】 使用料・手数料は、行政経営指針等において原則３年毎に改定することを決めており、新型コロナウイルス感染症の拡大等の社会情勢により、次回改定をＲ７年４月に予定している。 （Ｒ５．１０月）庁内意見を集約の上、「使用料・手数料の考え方」を改正 （Ｒ５．１１月～Ｒ６．２月）所管課において各種行政サービスの提供に掛かる原価の算出 （Ｒ６．３月）行政経営戦略会議において改定額案の決定 【無料の公の施設の利用料金の有料化検討】 上記の「使用料・手数料の考え方」改正に当たって新たに有料化するべき施設があるか否かを検討したが、現時点では該当する施設はなかった。 ※無料の公の施設の主な例 郷土資料館（常設展示）・老人福祉センター（一部）・老人憩いの家	実績なし	イ	【使用料・手数料の見直し】 Ｒ７．４の改定に向け、Ｒ６年度は次のとおり予定している。 （Ｒ６．６月）Ｒ７年４月に使用料・手数料の改定を予定していること、改定の基本的な考え方などを広報・ＨＰで周知 （Ｒ６．８月）算出原価、具体的な改定額（案）などを広報・ＨＰで周知 （Ｒ６．９月）議会に関係条例の改正を提案 （Ｒ６．１０月～）指定管理者・減額対象団体等への説明 （Ｒ７．２月）改定額を広報・ＨＰで周知
3	上下水道料金の適正化	・下水道使用料の検証、見直し及び方針の検討	上下水道課	下水道事業の経営分析として、令和２年度～５年度決算における料金回収率（事業費に対する使用料の比率）の検証及び分析を行った。 参考 料金回収率 令和２年度 110.12% 令和３年度 105.20% 令和４年度 103.44% 令和５年度 102.60%	実績なし	イ	・令和６、７年度の２か年で下水道事業経営戦略の見直しを行う予定。 ・計画の進捗状況、今後の人口減少による料金収入の状況及び「白井市公共下水道ストックマネジメント計画」に基づく更新費用を踏まえ、財政収支の見直しを行い、現行の下水道使用料の検証、見直し及び料金改定方針を検討する。

第2次白井市行政経営改革実施計画進捗状況 【令和5年度】

【評価】 ア：目標達成（完了） イ：目標達成（引き続き取り組んでいく） ウ：未達成（引き続き取り組んでいく） エ：目標未達成（事業終了とする）

取組番号	取組項目名	取組目標	所管課	取組実績	効果額実績	自己評価	所管課意見（今後の方針・課題など）
4	公有財産の有効活用	・公有財産の貸付等の実施 ・普通財産等の売却 ・文化センターの喫茶室スペースの利活用事業者の募集 ・富士南園広場の有効活用の検討	公共施設マネジメント課 文化センター	【公有財産の貸付等の実施】 ○行政財産 印西警察署分庁舎 1,525,614円 ○普通財産 印西警察署（富士駐在所）、NPO法人ぼればれちば等 26箇所 1,767,801円 【普通財産等の売却】 堀込3丁目17番23（173㎡）18,163,000円 【文化センターの喫茶室スペースの利活用事業者の募集】 令和4年に引き続き、喫茶室スペースやセンター内に募集ポスターを掲示して募集を実施（貸付期間の明記無し） →応募者なし 【富士南園広場の有効活用の検討】 （R5.11）庁内関係各課により意見交換会を実施 ※関係課 都市計画課、産業振興課、生涯学習課 等	21,456,415円 ※公有財産の貸付額＋普通財産の売却額	ウ	【公有財産の貸付等の実施】 令和5年度売店スペースの貸付事業者の募集を実施したが、応募がなかった。募集要項等の見直しを行い、引続き募集を行う予定。 【普通財産等の売却】 令和6年度は、具体的な売却予定地なし。 活用予定のない市有地については、将来的に売却を検討する。 【富士南園広場の有効活用の検討】 引き続き、関係課と活用方法について検討を行う。 【文化センターの喫茶室スペースの利活用事業者の募集】 令和5年3月に文化センターのあり方検討委員会からの提言書を受け、喫茶室スペースを含む文化センター施設全体の今後の方向性を決定し、大規模改修を行う見込み（時期未定）があることから、長期間の貸付を行うことを前提とした募集ができない。
5	公共施設等へのネーミングライツの導入	・企業の募集	公共施設マネジメント課	市のホームページにおいて、提案型によるネーミングライツパートナーの募集を行ったところ、1施設について応募があり、協定の締結に至った。 ※締結実績 施設名称：中木戸公園（白井市大山口1丁目26） ネーミングライツ・パートナー：新鎌ヶ谷駅前クリニック 院長 小林マーク ネーミングライツ料(税込み)：年額50万円 協定期間：令和6年4月1日～令和9年3月31日（3年間）	500,000円	イ	《今後の方針》 令和6年度も引き続き、ホームページにて提案型の募集を行う。 また、公募型のネーミングライツ導入希望の有無について関係各課に照会を行う。
6	ガバメントクラウドファンディング活用の推進	・クラウドファンディングに係る勉強会の実施 ・クラウドファンディングの実施	秘書課	【クラウドファンディングに係る勉強会の実施】 令和5年8月に、クラウドファンディングに関する職員の知識を深め、各課において令和6年度事業での活用を検討していくため、株式会社CAMPFIREによるオンラインセミナーへの参加を含む勉強会を実施 ※参加者 11名（公共施設マネジメント課、企画政策課、市民活動支援課、環境課、子育て支援課、健康課、生涯学習課 【クラウドファンディングの実施】 （R5.9～11）秘書課による実施 募集内容：着ぐるみ（なし坊・かおり）の制作費用 目標金額：106万円（1体のみ）ネクストゴール191万円（2体） 達成金額：207万円	—	イ	令和6年度における実施予定事業はなく、目標金額を達成するための設計や寄附者への返礼品発送業務の対応等、担当課の事務負担が増すため、実施までに至りづらいと思われる。
8	土地の賃借廃止	・賃借廃止できる土地の洗い出し	財政課	実績なし	実績なし	ウ	当初予算編成時のヒアリングで全課の賃借している土地を確認したが、現状廃止できそうなものはなかった。 ※主な土地の賃借 ・白井コミュニティセンター駐車場 ・市民プール駐車場 ・農業センター用地

第2次白井市行政経営改革実施計画進捗状況 【令和5年度】

【評価】 ア：目標達成（完了） イ：目標達成（引き続き取り組んでいく） ウ：未達成（引き続き取り組んでいく） エ：目標未達成（事業終了とする）

取組番号	取組項目名	取組目標	所管課	取組実績	効果額実績	自己評価	所管課意見（今後の方針・課題など）
9	補助金・扶助費の見直し	・ 予算編成時の既存補助金・扶助費の確認 ・ 扶助費の見直し	財政課	【予算編成時の既存補助金・扶助費の確認】【扶助費の見直し】 ○補助金 「白井市補助金のあり方の基本方針」に基づき、予算編成時に、公益性、公平性、有効性といった観点から確認した。令和4年度に補助金全体の見直しを行ったこともあり、実態に合わない補助金はなかった。 ○扶助費 任意的な扶助費について、「扶助費のあり方」に基づき、予算編成時に対象者やどういった所得制限を設けているか、近隣他市の動向などを考慮し、費用対効果を踏まえ必要性を確認し、適正な額を次年度予算に計上した。	実績なし	イ	【補助金の確認】 予算編成時のヒアリングの際、各課の補助金について、補助金のあり方の基本方針に基づいたものであるか、また金額の妥当性を確認していく。 実態に合わない補助金が確認できた場合には、総務課と調整し補助金の見直し対象とする。 【扶助費の確認】 扶助費全体として例年増加傾向にあるため、任意的なものについては、これまで以上に精査する必要がある。
10	保育園の運営方法の検討と実施	・ 保育園の運営方法の外部検討	保育課	学識経験者、保育所等の代表者、教育機関の職員、市民、市職員で構成する「公立保育所の役割及び体制検討委員会」（附属機関）において、6回の会議を行い、①公立保育所の解決すべき課題と②今後の市の保育の質の向上に向けて公立保育所の担うべき役割について、調査審議を行った。 《主な議題》 (R5.6月) 第1回会議 検討委員会の目的と役割について (R5.7月) 第2回会議 市内保育所等視察 等 (R5.10月) 第3回会議 意見交換のまとめについて (R5.11月) 第4回会議 インクルーシブ保育について (R6.1月) 第5回会議 公立保育所の課題の整理 (R6.3月) 第6回会議 公立保育所が担うべき役割について	－	イ	委員会で調査、審議した内容をもとに、令和6年度中に市の方針を決定する。 (R6.5) 第7回会議 (R6.7) 第8回会議 (R6.8) 第9回会議 (R6.9) 第10回会議
11	学童保育所の運営方法の検討と実施	・ 学童保育所の運営方法の検討	保育課	「業務委託」による運営と「指定管理者制度」による運営の比較を行い、より適した学童保育所の運営方法の検討を行った。 検討の結果、指定管理者制度においては、コストの増加が見込まれ、それに伴い利用者負担も増加するといったデメリットがあること、また、現在の業務委託による運営においても、事務事業評価で目標とした満足度を上回る評価を受けているなど、適切な運営ができていることを踏まえ、令和8年度以降も現状通り業務委託による運営を継続することとした。 (R5.10月) 子ども・子育て会議（附属機関）において意見聴取 (R6.3月) 「業務委託」による運営の継続について内部決定	－	ア	
12	障害者支援センターの運営方法の検討と実施	・ 障害者支援センターの運営方法の内部検討	障害福祉課	建物・土地それぞれを売却又は賃貸とした場合の複数案について、リスクを比較検討した。令和9年度末までに、指定管理者制度を廃止する場合のスケジュール案を作成した。	－	イ	指定管理者制度を廃止して新たな運営手法で募集を実施する場合、応募なしという状況にならないよう、市と受託法人の双方にとっての費用対効果を検証した上で、運営手法を決定する。

第2次白井市行政経営改革実施計画進捗状況 【令和5年度】

【評価】 ア：目標達成（完了） イ：目標達成（引き続き取り組んでいく） ウ：未達成（引き続き取り組んでいく） エ：目標未達成（事業終了とする）

取組番号	取組項目名	取組目標	所管課	取組実績	効果額実績	自己評価	所管課意見（今後の方針・課題など）
13	出張所窓口の廃止	・出張所窓口の廃止の検討 ・無作為抽出によるアンケート調査 ・市民との意見交換会及び周知 ・出張所窓口の廃止の実施	市民課	【出張所窓口の廃止の検討】【無作為抽出によるアンケート調査】 令和4年度において取組みが完了しているため、実績なし 【市民との意見交換会及び周知】 ・市ホームページ、広報しろい（毎月1日号）への掲載 ・市役所及び各センターにおけるポスターの掲示、チラシの配布 【出張所窓口の廃止の実施】 (R5.4月) 出張所廃止の代替措置の一環として、住民票等を自宅に届けるサービスを開始 ※令和5年度実績 0件 (R5.12月末) 出張所窓口の廃止	廃止による削減額 1,105千円 (R4年度予算ベース)	ア	
14	市政に関する市民意向等の把握と公表	・しろいeモニター制度を活用したアンケートの実施	企画政策課	・eモニター登録者の募集を行い、新規登録者の増加を図った。 ※募集方法 市ホームページへの掲載、本庁舎1階デジタルサイネージへの掲示、成人式におけるチラシ等の頒布 ※令和5年度末登録者数 299人（令和4年度末+45人） ・年間を通して7件のアンケートを実施し、収集した市民の意見を事業の参考とした。 ※実施課：企画政策課3件・秘書課1件・生涯学習課1件・高齢者福祉課1件・健康課1件 ※平均回答率 65.74%	－	イ	既存のeモニター登録者、新規登録者への回答率を上げるため、アンケートの項目設定や実施頻度などの見直しを適時実施しながら、アンケートの有効性を高めるとともに、各課にも今後一層の周知を図り、積極的な活用を促す。
15	事業のスクラップ・リセットの徹底	・基準に基づく事務事業の廃止、休止など抜本的な見直し	企画政策課	(R5.4月) ・令和4年度に引き続き、後期基本計画期間の前半において選択と集中によるさらなるスクラップ・リセットを実行するため、立場を超えて全庁的に問題や課題を共有、評価する「事務事業見直しプロジェクトチーム」を組織した。 ※PT構成員 各部推薦課長7名+企画政策課長 (R5.5月) ・重点戦略事業について、同一施策間担当者会議を開催し、各事業の課題の解決に向けた意見交換と、プロジェクトチームによるヒアリングを実施した。(49事業) (R5.6月) ・令和4年度において見直し対象としなかった分野別計画事業「B 学習・教育」「D 環境・自然」「F 都市・交通」の事業のうち、プロジェクトチームが抽出した18事業について、ヒアリングを実施した。 (R5.8月) ・プロジェクトチーム及び企画政策課において、重点戦略事業及び今年度ヒアリングの対象とした分野別計画事業から見直し対象の事業を選定した。 ※見直し対象事業：3事業 ①白井市民大学校事業（重点戦略事業） ②消防団体制強化事業（重点戦略事業） ③青少年国際交流事業（分野別計画事業） (R5.10) ・見直し対象事業への各事業担当課の対応について、行政経営戦略会議において決定した。	－	イ	令和5年度が後期実施計画（R3～R7）の見直し年次であったことから、事務事業評価やプロジェクトチームの評価等の結果を踏まえ、第5次総合計画後期実施計画を改訂した。